

お題「野」

テーマ「卒業」

泣かないようにしている

こめ(泉町)

私は卒業が好きです。仲間と学校に通えなくなるのが淋しいと思わなかったし、幼い頃の引越しは嬉しくて仕方なかったように思います。仲のいい友達がいなかったわけではなく、ただ新生活への期待がとにかく大きかったんだと思います。別れのときは泣いておくもんだと冗談のように言われたことがあったし、冷たい人だと言われればそうかもしれません。でも、得るものは増えるはず。良くいえば前向きだなと思っています。

春夏秋冬

ホルトデル君

朝よりも夜。年始よりも年末。私は何かにつけて「終わり」が好きです。でも何となく人生の終わりを考えはじめたこの頃、これまでの「卒業の仕方」に反省することばかりです。

何事も始まれば終わります。平等に過ぎる時間も、使い方はその人次第。これから幾度か迎えるであろう終わりの時を「あー終わったー」と素直に感じたもの。
今が終われば新しい何かが始まるさ、という考え方と卒業しなければと思います。

卒業という言葉

ストレッツマン(泉町)

「卒」には「おわる、おえる」、「業」には「なすべきこと。職業。学問」などの意味があります。広く解釈すれば、私たちは日々何かしら卒業しています。何かの終わりは、何かの始まり。出会いと別れの季節では、終わりをポジティブに捉え、新しいスタートを大事にすべきだ、日々成長なんだ、と最近しみじみ思います。

まずは朝、いつも二度寝しちゃう癖。この悪癖からの卒業を目指さなきゃ…

編集後記

今回の特集は「絵本の力」。皆さんは、小さい頃に読んでもらった絵本を覚えていますか？読んでもらった記憶がなくとも、絵本を手にとってふと懐かしい気持ちになったとき、それはちゃんと心の中にあるのだと思います。

そんな絵本を大人になってからもう一度読み返してみると、物語の秘密に気付いてしまったり、思わず泣いてしまったり…。幼い頃にたくさんまいた種が発芽するのは、もしかしたら大人になった今なのかもしれません。(広報)

野佛に花をたむけて語りかけ
広い視野持った人だない笑顔
憂き身世の振り向き見れば木々枯野
野の花に春の足音行かなくちゃ
野原でも社会に出ても迷いがち
垂乳根は山の裾野に鎮座して
踏まれても野草の如く強く生き

小阪千枝子
佐竹マスお
足立昌代
ストレッツマン
こねこ
かず慧
光ちゃん

4月1日号の投稿募集

お便りテーマは「思い出の曲」です。切ない記憶がよみがえるあのメロディー…皆さんの思い出の曲をテーマに200字以内(タイトル別)でお寄せください。

川柳のお題は「チェンジ」です。(1人一句)

締め切りは3月19日(火)です。

■応募・問い合わせ

住所・氏名またはペンネームを明記し、秘書広報課広報広聴係へ。

〒509-5192(住所不要)

☎54 1111(内線185) / ☎55 7763

✉koho@city.toki.lg.jp

※応募多数の場合は、採用されない場合があります。また、お便りについては、採用に当たり、趣旨を変えない程度で表現を変更する場合がありますので、ご了承ください。掲載の際に投稿者へのご連絡は行っていません。